

バーブラ・ストライサンド*ジェームズ・カーン*オマー・シャルフ

ファニー・レディ

ハサビジョン
カラー作品
スーパーステレオ・サウンド

製作/レイ・スターク*監督/ハーバート・ロス
オリジナル・ソング*ジョン・カンダー/フレッド・エップ ■アティシヨナル・ソング*ビリー・ローズ
コロムビア映画 ■サントラ盤/アリスタ・レコード(CBS・ソニー) ■原作邦訳/二見書房

STREISAND & CAAN

How Lucky Can You Get!

Funny Lady

COLUMBIA PICTURES and RASTAR present
BARBRA STREISAND and JAMES CAAN
in FUNNY LADY
a RAY STARK production

Co-Starring RODDY McDOWALL BEN VEREEN CAROLE WELLS
Original Songs by JOHN KANDER and FRED EBB Additional Songs by BILLY ROSE
Costumes Designed by RAY AGHAYAN and BOB MACKIE
Screenplay by JAY PRESSON ALLEN and ARNOLD SCHULMAN

a HERBERT ROSS film
OMAR SHARIF as Nicky Arnstein
Director of Photography JAMES WONG HOWE, A.S.C.
Music Arranged and Conducted by PETER MATZ Production Designed by GEORGE JENKINS
Story by ARNOLD SCHULMAN Directed by HERBERT ROSS Produced by RAY STARK

APB/Vista Feature ORIGINAL SOUND TRACK RECORDING AVAILABLE ON ARISTA RECORDS AND TAPES. Filmed in Panavision and Technicolor

8月16日[±]より 待望のロードショー

伊勢丹会館ヨコ
新宿ピカデリー (354) 2411



ファニー・レディ

スーパーステレオ・サウンド ■ パナビジョン ■ カラー作品

バーブラ・ストライサンド / ジェームズ・カーン / オマー・シャルフ
製作レイ・スターク / 監督ハーバート・ロス



彼女の相手役には「ファニー・レディ」ではあの「アラビアのロレンス」のオマー・シャルフが、追憶では74年の男ロバート・レッドフォードが、そしていま「ゴッドファーザー」ローラーボールのジェームズ・カーンがビルリー・ローズ役に起用されました。今年はその当り年になりそう。

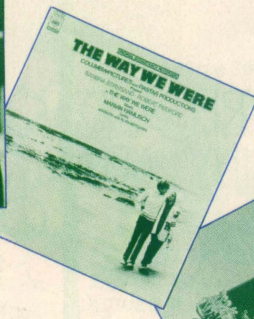
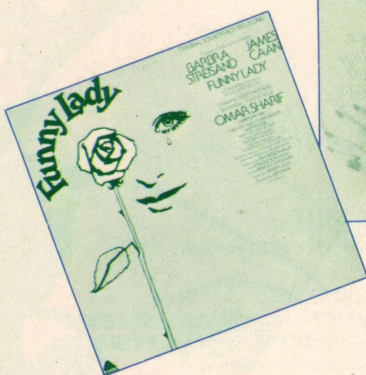
*華麗なラブ・ストーリー

「ファニー・レディ」をこぼれになった方はもう存じのほうですが、ヒロインのファニー・フライスは、1910年代から30年代にかけて活躍したミュージカルの大スター。恋に耽り、愛に生きた彼女の生涯——こんどの「ファニー・レディ」では、ニッウェン・シャリフと別れたファニー（ハーブラ・ストライサンド）が、有名なショーマンのビルリー・ローズ（ジェームズ・カーン）と結ばれ、そして別離するまでの10年間、1928年から38年までを描きます。

撮影監督は「ピフニック」や「老人と海」など数多くの作品でハリウッドの代表カメラマンの名声高いジェームズ・スウォンハフ。

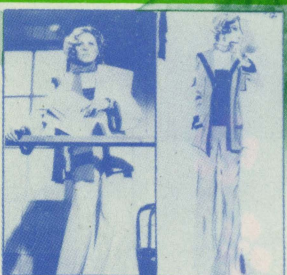
このほか、1930年代の空の花形だった黄色の複葉機も登場。これにハーブラが乗って飛ぶのだ。また、ファニーの邸宅には、高級住宅地ベルエアにあり、100万ドル（3億円）の美術品が飾られている豪華さが借られました。ファニーが、たのしく、華麗で、哀愁に彩られたラブ・ストーリー、それが「ファニー・レディ」です。

(右から) SOPN-44009 / SOPM-89 / SOPM-98 BLPO-10-AR (いずれもCBS・ソニーの発売)



「ファニー・レディ」のサントラ盤は、アリスタのレーベルで日本ではCBS・ソニーから7月1日発売されます。バーブラのファン層は「ファニー・レディ」の公開で飛躍的に広がり、それが「追憶」で爆発的となりました。映画の大ヒットにあわせてサントラ盤をはじめ、彼女のレコードは現在驚異的な売れゆきを続け、この1月に発売された『バタフライ』もたいへんな人気。「ファニー・レディ」が大いに期待されます。

日本中の映画ファン、特に若い女性にとつて待ちに待った華麗なラブ・ストーリーがやってきました——素敵な恋をした、あの「ファニー・レディ」が、成長、いま、ふたたび華麗な恋に生きようとする「ファニー・レディ」がそれです。いちだんとゴージャスで、たのしく、華麗で、哀愁に彩られたラブ・ストーリー。海のあちらではたいへんな話題になっているこの映画。チョッピリご紹介いたしましょう。



*目を見はる40点の豪華ファッション！

ロマンティックな恋、そして胸おどる素晴らしい音楽、それに加えてもうひとつの話題は、主演のハーブラが見せる豪華なファッションの数々。シックなイフニング・ドレスをはじめ、ゴージャスな毛皮のコート、軽快なスポーツウエアや、大胆な色とデザインの花ウエーブ、そしておしゃれなブラウスや水着、燃えるような赤色の、あるいは純白のハットなど、その数およそ40点。ドレスを一着つくるのに150人の裁縫師がついて、ドレスをただけでも2週間半をかけたという超豪華ドレスも登場。

衣裳を担当したロイ・アガヤンとボブ・マッキーはオスカー賞にもノミネートされた名デザイナー。このコンビの力作は、さながら一流のファッション・ショーを見るよう……。

*情熱に乾杯！

すべての映画がそうでしょうが、この映画こそ、つくろった人たちが情熱の炎となつて生み出したその典型といえるでしょう。

監督は「チップス先生さようなら」のハーバート・ロス。彼は「ファニー・レディ」のミュージカル・ナンバーの演出を手がけています。

*あふれるメロデー

この映画でうれしくなつてしまつのは、ビルリー・ローズを演じるジェームズ・カーンがピアノを弾き、歌うことです。まさにミュージカル・レガシーもハーブラ・ストライサンドとデュエットなんて、紹介される曲は全部で18曲。映画のためのオリジナルは、「キャバレー」のジョン・カンターとフレッド・エップの作曲・作詞のコンビが書いたもので、6曲。ビルリー・ローズの曲は、あの有名なスタンダード・ナンバーの「I Was Only a Paper Moon」や「I Found a Million Dollar Baby in a Five and Ten Cent Store」など12曲。そして「I Love Again」。

*ため息の出るゼイタクキ

華麗なラブ・ストーリー、美しいヒット主題歌、そしてゴージャスなファッションと三拍子そろつた上に、最高にお金をかけたゼイタクキを楽しめるのがこの映画。ホロ・ゲームのシーンで登場するクラシック・カーはなんと300台という数で、中でも特にテラックスなのは、ファニーが乗るロールス・ロイス。世界で1台しかないというこのロールス・ロイス。お値段が2600万円、そしてもう1台はメイバット・ツエッペンという名で、1930年代の



*おお、ゴージャス！
テレビ、ステージ、コンサート、レコーディング、映画と、あらゆるメディアの賞——エミー賞、トニー賞、シヨージ賞、グラミー賞、アカデミー賞……を総なめにしているスーパースター、バーブラ・ストライサンド。
映画制作「ファニー・レディ」(87)アカデミー賞主演女優賞受賞のBarbra Streisand